

2003

6/1

NO.844 毎月1日発行

小田原

広報

まちづくり情報誌

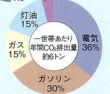
雨もまた楽し。
しっとりとした情緒も、
小田原の魅力。

6月5日は「環境の日」 6月は「環境月間」です。

地球にやさしい生活を
はじめましょう！

私たちは、石油や天然ガスなどの資源やエネルギーを大量に消費し、便利で豊かな暮らしをしています。しかしその一方で、地球温暖化や酸性雨、大気汚染などの環境問題を引き起こしています。人間と環境との関わりを見つめ直し、私たち一人ひとりが地球に暮らす人間として責任ある行動をしましょう。 ●環境保全課 ☎33-1481

家庭におけるエネルギー源別CO₂排出量
水道4%



家庭では：

地球温暖化の原因となる二酸化炭素ガス(CO₂)の排出を減らすために家庭で使う電気・ガス・水道などの使用量を調べて地球にやさしい暮らし方を考える「環境家計簿」の取り組みを行っています。

「環境家計簿」チャレンジ家族を募集中！

あなたも地球にやさしい生活をはじめませんか。

①「おたわら市民エコ・アクション」の宣言
12のエコ・アクション(地球を守る行動)の中から実行する行動を選び、ライフスタイルを見直すことを宣言してください。

②環境家計簿に挑戦！

1ヶ月ごとに電気、ガス、水道、ガソリン、灯油の使用量、燃せるごみの排出量をメーターなどでチェックして家計簿に記入します。7月・8月の2か月間の挑戦者を募集します。
申込 6月25日(水)までに電話で



環境
インタビュー

「はじめます。地球にやさしい新生活」

山内 純子さん(中町在住)

私は買わずにフルーツを絞ってジュースを作ったりしてゴミを減らしています。子供の服などはフリーマーケットも利用しています。休日は車での遠出は控え、自転車や公園や海川へ出かけよう。便利になった今の時代に、昔のようなお洒落しは大変です。地球にやさしく節約や倹約になり、家族の健康にもいいですよ！

市では：

地球にやさしい行動「e_{co} EGG」(エコ・エッグ)に率先して取り組みます。

エコ・エッグとは、新しい行動スタイルを産み出す卵、という意味を含めて名付けました。

①「Eco EGG」

Electricity 電気の削減	ノー残業デーにあわせて一斉消灯 原則として毎週水曜日は、ノー残業デーにあわせて市庁舎の一斉消灯をします。
Gasoline ガソリンの軽減	毎月第一水曜日はノーカーデー 市公用車の使用抑制や、マイカー通勤の自粛をします。
Gomi ゴミの削減	ノーレジ袋運動 市職員は率先してマイバッグを使用し、ゴミを減量します。



市のエコアップリーダー養成講座を受講し、地球温暖化などをテーマに研究している一人に聞きました。

浦井 奈美恵さん(城山在住)

お風呂はなるべく家族が続けて入り、無駄な湯沸しをしないようにしています。台所の洗いの時も、流しっ放しにならないよう食器をお湯につけてから短時間で洗うようにして、お湯の温度も少し下げています。スーパーでの買い物は、マイバスケットがお勧め。レジ袋のゴミが減り、カゴからも広めていきたいです。

市庁舎の省エネ改修が完了しました!!

●管財契約課 ☎33-1322

昨年度、市庁舎の空調設備や照明器具などを大幅に省エネ化する改修を行いました。空調設備は、環境に配慮して天然ガスエンジンと排熱投入型冷水発生機の組み合わせによる方式を採用し、エンジンの排熱を冷暖房に利用するシステムを導入しました。この天然ガスエンジンには庁舎の冷暖房時の熱源になるほか、庁内の電気需要が多くなると自動的に発動する機能も備えています。

この工事により、二酸化炭素排出量は年間34.4:1トン削減される見込みです。これは、幹周り100センチのクスノキ約1,400本が一年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。また、省エネによる年間の光熱費は約2,600万円の削減を見込んでいます。

袋に入れ替える手間もかからないです。みんなが環境家計簿に取り組んで、少しでも地球環境が良くなるといいですね。



香川 隼勝さん(曾比在住)

片道4kmの車通勤の半分を自転車と徒歩に替えて、ガソリンの使用を減らしました。燃料費も月3千円くらい削減できました。テレビ、ビデオ、電気ポットなど使わない時は、コンセントを抜き待機電力の削減もしています。今後、子供たちにも広めていきたいです。

平成13年度 大気測定結果

調査内容	測定場所	測定結果
大気環境調査 (二酸化窒素 ^{※1} 濃度など)	市役所 (一般環境大気測定局)	良好
	市民会館 (自動車排出ガス測定局) ^{※3}	良好 (県下14の測定局の 中で一番きれい)
ダイオキシン類 ^{※2} 調査	市役所	良好
	消防本部	良好

- ※1 人の呼吸器に悪い影響を与えるおそれがあるといわれているほか、光化学スモッグや酸性雨の原因物質にもなる。
- ※2 化学物質の製造や燃焼などにより発生し、奇形児が生まれる原因と考えられている。
- ※3 自動車の排出ガスの影響を受ける地域の環境を計画

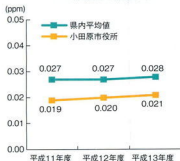


市内3箇所です。平成13年度の調査結果では、いずれも環境基準を満足し、特に市民会館での調査結果は県内の自動車排出ガス測定局中で一番きれいな地点となっています。

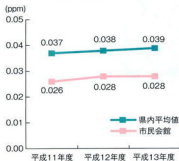


二酸化窒素濃度の経年変化

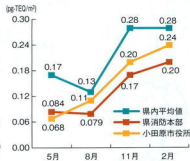
一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局



平成13年度
大気中のダイオキシン類調査結果



メダカのお父さんお母さん募集！
あなたも小田原のメダカを育ててみませんか！
応募条件 市内在住または市内事業者の方で、4つの約束(大切に育てる、勝ち手に捨てたり放流したりしない、他の種類の魚と一緒に飼育しない、人に譲らない)を守る方。一世代につき1申込みまで。年齢不問。中学生以下は、成年者の承諾が必要(多数抽選)。

申込み方法 6月20日(金)まで(必着)に、郵便番号・住所・氏名・年齢・勤務先(または学校名)・電話番号をはがきに書いて郵送。
〒250-8555
小田原市役所環境保全課
「小田原メダカ係」
メダカ手渡し日 7月20日(日)10時～正午
場所 市役所大会議室
※当日は、「メダカミニセミナー」も開催します。



市内の5河川8地点、海城3地点、海水浴場2地点、地下水63地点などで、きめ細かく水質の監視に努めています。また、工場排水の立ち入り検査を定期的に、いり、水質事故の未然防止に努めています。特別市への移行以来、大きな河川水質事故はなく、各地点の調査結果はいずれも良好な値を示しています。

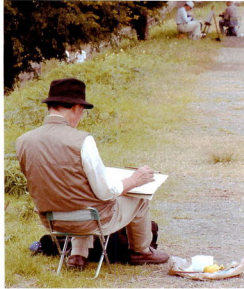


水



BOD(生物化学的酸素要求量)とは、微生物が汚れを分解するときに必要な酸素の量で、この数字が大きければ、河川が汚れていることを示しています。魚が住める水の目安は5mg/ℓ以下となります。

平成13年度
河川水質調査結果BOD平均値



もう一度自分の健康を考えよう！ 「健康日本21」と「健康増進法」

生まれたばかりの赤ちゃんが平均してあと何年生きられるかをあらわした「平均寿命」、健康に過ごせる人生の長さをあらわした「健康寿命」ともに、日本は世界一の長寿国です。しかし健康寿命と平均寿命の間には数年の開きがあり、この期間は痴呆や寝たきりなどで過ごすことにもなります。この期間をできるだけ短くし、生涯元気で過ごせれば人生は充実し、医療や介護の負担も少なくて済みます。そのため国民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支えるため、21世紀の国民健康づくり運動として、「健康日本21」が2000年から2010年までの間、推進されています。

④健康づくり課 ☎470820

「健康日本21」の目標は、日本人の死

心臓病などの生活習慣病になることなく、健康でいられる期間を延ばすことです。そのため生活習慣にかかわる9つの領域で目標が定められています。

①栄養・食生活

塩分を摂り過ぎない、野菜の摂取量を増やす、カルシウムに富む食品(牛乳・乳製品、豆類、緑黄色野菜)の摂取を心がける、朝食を食べるなど、質・量ともにきちんとした食事を摂るよう心掛けてください。

また、1日最低1食、きちんとした食事を、会話をしながら30分以上かけて摂るよう心掛けてください。



②身体活動・運動



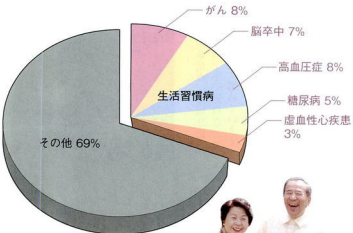
日ごろから体を動かすことを意識して、今より1日に10分、長く歩くように心掛けてください。高齢な方も外出を心がけたり、地域活動に参加するなど、体を動かすように心掛けてください。

③休養・心の健康づくり

このころの健康は、生活の質を大きく左右する要素です。睡眠による休養を十分にとるよう心がけ、ストレスをためすぎないように心掛けてください。



生活習慣病の医療費は7兆5,000億円！



平均寿命と健康寿命との差

	男性	女性
平均寿命	78.1歳	84.9歳
健康寿命	71.4歳	75.8歳
その差	6.7歳	9.1歳



④たばこ

たばこはがんや循環器病など多くの疾患と関連があります。たばこが及ぼす健康への悪影響について知り、未成人者の喫煙をなくしましょう。また、たば



この煙は、たばこを吸わない人にも害を与えます。たとえば、百貨店、飲食店、事務所、集会施設など、多くの人が利用する施設を管理する方は、他人のたばこの煙を吸わされることを防ぐ措置をとるように努めましょう。

⑤アルコール



アルコールは摂りすぎると健康に大きな影響を与えます。日本酒なら1日1合など、「節度ある適度な飲酒」を心がけましょう。

また未成年者の飲酒をなくすようにしましょう。

⑥歯の健康

歯の喪失の防止は食物の咀嚼のほか、食事や会話を楽しむなどによる生活の質の確保の基礎となります。また、う蝕や歯周病は歯の喪失につながるため、その予防が大切です。

80歳で自分の歯を20本以上持つことを目標にしましょう。



⑦糖尿病

日本の糖尿病患者数は生活習慣と社会の変化に伴って、急速に増加しています。また、糖尿病はひとたび発症すると完全な回復は困難であり、



放置するとさまざまな病気を引き起こすことが多いため、発症を予防するため、生活習慣を改善する、健診などで早期に病気を見つける、また、糖尿病を発症したら適切な治療を継続するようにしましょう。

⑧循環器病

循環器病は日本の主要な死亡原因の一つであるとともに、後遺症のためにその後の生活に大きな影響を及ぼすこともあります。

循環器病の一次予防のために、減塩、

減量、禁煙などの生活習慣の改善を心がけ、健診で病気を早期に見つけましょう。



⑨がん

がんは最大の死亡原因であり、死因の3割を占めています。禁煙、食生活の改善、適正飲酒を心がけるほか、年に1回は各がん検診を受けるようにしましょう。



「健康増進法」はこの「健康日本21」

を支える法的基盤として、健康づくりをより強力に推進するために、5月1日から施行された新しい法律です。保健センターでは皆さんの健康づくりのために次の事業を行っています。

健康講座

詳しい日程は広報15日号でお知らせしています。

生活習慣病予防教室

生活習慣病などについて理解を深めるための教室です。高脂血症・糖尿病・高血圧については2回ずつ、こころ・骨粗しょう症・歯・喫煙については1回ずつ、医師・歯科医師がお話します。

健康づくりコース

栄養・運動・休養の3コースがあります。調理実習や運動実習などの実践的な実技を通して、健康づくりについて学びます。各コースとも3日間の日程で、2回ずつ開催します。

個別健康教育

「あなたの生活を見直そう!」として、高コレステロール血症や糖尿病予備軍の方を対象に、生活習慣病を予防するための具体的な方法を保健師や栄養士とともに応援いたします。

今年度は新たに「禁煙チャレンジ」と題して、禁煙したいと思っている方も応援します。

各地域での活動

25速成自治会会館に「健康おたわら普及員」さんの企画のもと、「食生活改善推進員」さんと協力して、栄養や運動の

教室を行います。また、各地区で行われる健民祭などのときに地域でつくる「ミニ健康デー」として、「健康おたわら普及員」さんとともに健康づくりのコーナーを設置します。各事業とも、開催の日時や場所は各地区ごとに回覧でご案内します。

食育実践活動事業

正しい食生活への関心を高め、望ましい食習慣を身に付けられるよう、各地区にて「食生活改善推進員」さんが、「健康おたわら普及員」さんと協力して、栄養教室を開催し、食を通じた健康づくりを進めます。

また、幼児期から正しい食習慣を身につけることを普及するための研修を「食生活改善推進員」さんに行います。

その他

健康手帳の交付、基本健康診査、肺・大腸・子宮・乳・胃・前立腺がんの各種がん検診、すこやか健康相談などの保健事業を行っています。詳しくは健康カレンダーをご覧ください。

健康日本21や健康増進法についてさらに知りた方は、以下のホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/top.html

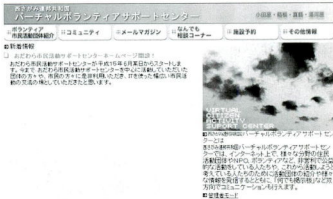
<http://www.kenkounippon21.gr.jp/>

健康づくりの主役はあなた自身です。まずはあなたができることから始めてみましょう。

西さがみ連邦共和国バーチャルボランティアサポートセンター おだわら市民活動サポートセンターホームページ

おだわら市民活動サポートセンター ☎22-8001

トップページイメージ



この画面は、西さがみ連邦共和国バーチャルボランティアサポートセンターの一部の画面で実際に閲覧するものではありません。ご留意ください。

ここではインターネット上で、様々な分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのために活動団体の紹介や様々な情報を発信するとともに、「何でも掲示板」などで気軽にコミュニケーションも行えます。

ホームページアドレス

○西さがみ連邦共和国バーチャルボランティアサポートセンター

URL
<http://www2.city.odawara.kanagawa.jp/ssc/>
<http://www2.city.odawara.kanagawa.jp/ssc/odawara/>

主な内容

- 1 ボランティア・市民活動団体紹介**
西さがみ連邦共和国(小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町)に団体登録されている市民活動団体の紹介を、団体活動分類で整理し、分類検索・語句検索をかけられるよう整理して運用します。
- 2 コミュニティ**
「ボランティア募集掲示板」「会員募集掲示板」「有給スタッフ募集掲示板」「市民活動お知らせ掲示板」「イベント&講座のお知らせ掲示板」「なんでも掲示板」などの各種掲示板で、気軽に情報交流ができるようになります。
- 3 メールマガジン**
おだわら市民活動サポートセンターより、情報発信のため定期的にメールマガジンを発行することで、市民活動を身近に感じていただけるようになります。
- 4 なんでも相談コーナー**
「みんなに相談」「行政窓口」に相談「NPO 団体への相談」「Q&A集」により、きめ細かい各種相談に対応できるようにします。
- 5 施設予約**
おだわら市民活動サポートセンターの予約状況が見られるようにして、団体活動を側面から支援します。
- 6 その他情報**
各種市民活動を行う際に必要と思われる情報のリンク集や、助成金情報などを掲示します。

用途地域の 変更素案の閲覧及び 公聴会の開催について

県都市計画課
 ☎04521016175
 市都市計画課 ☎331571

県では、大窪小学校東側において現在事業中の板橋土地区画整理事業の進捗に伴い、用途地域の変更案を取りまとめましたので、次のおり変更素案の閲覧を行うとともに、公聴会を開きます。

●素案の閲覧

日時 平成15年6月3日(火)から24日(火)
 8時30分から17時まで
 (土日を除く)

場所 県都市計画課・市都市計画課
 (市役所6階)

●公聴会の開催

日時 平成15年8月1日(金)19時~21時
 場所 市役所7階大会議室

公聴会で公述を希望される人(多数の場合は10人程度)は、「公述申出書(用紙は提出先にあります)」を、6月3日から24日までに、県都市計画課または市都市計画課へ提出してください。公述人の資格は、小田原市民及び利害関係人です。

公聴会の傍聴を希望される人は、直接会場へお越しください。
 なお、公述の申出がない場合、公聴会は開催されません。

「参画でわたしが変わる

未来も変わる」

男女共同参画週間 6月23日～29日



「男は泣くな」「女はおしとやかに」とか「女は家事・育児」「男は妻子を養う」など、果たして性別でくくる必要があるのでしょうか。自分も、周りの人もその人らしさで輝いて、いきいきと暮らす社会を創りましょう。

●女性行政課 ☎331725

※週間中、市役所2階ロビーで女性団体の活動状況などのパネル展示、ビデオ放映(6/23・6/27の昼)をします。

「男女共同参画社会」とは、男女が互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができるといえる社会です。男女が共同して家庭で、地域で、学校で、職場でみんなが主役の社会。男女共同参画社会の実現を目指すために男女共同参画基本法が制定され、「男女共同参画週間」が設けられています。

女性行政課では、

○審議会などでの女性委員の活躍をめざして「女性カレッジ」(7月・8月)、「女性パワーアップ大学院」(10月・11月)を開催します。(受講者募集のお知らせは別途広報でお知らせします)

○平成17年度からの「おだわら女性ビジョン」後期基本計画策定にむけて市民の皆さんから、「意見を伺う予定です」(16年1月頃「地域フォーラム」開催予定)

このほかにも様々な事業を行っています。くわしくは、女性行政課までお問合せください。



活断層と地震について

●神奈川県温泉地学研究所 ☎233671

「活断層」と聞くと、なにか断層が生きているように動いているような印象を受けますが、普段の活断層は静穏で、小さな地震を起こすこともなく、何の動きもしていません。しかし、数百年から、時には数千年に一度、突然動いて大きな地震を発生させるのです。

地震は、地下の岩盤に加わった力の歪みが蓄積し、それが岩石の強度を越えた時に岩盤が破壊し、蓄積された歪みのエネルギーが地震波として放出される現象です。地下の岩盤は、いつも同じ方向から力が加えられ、おおよそ同じ位の時間間隔で破壊します。この破壊現象は、地下の岩盤に、ある広がりをもった食い違い面(断層)を造り、やがて破壊は停止します。この断層運動に「断層運動」といいます。この断層運動によつて造られた断層のうち、約200万年前から現在までの地質時代(第四紀)に繰り返しの断層を「活断層」と呼んでいます。

平成7年に起きた阪神・淡路大震災(M7.3)は、淡路島の野島断層を含む六甲・淡路断層帯の活断層を舞台として発生したことから、活断層という用語は一般の人にもよく知られるようになりました。

活断層は、長年にわたる断層運動によって生じたずれの量(活動度)により、次のように分類されています。



○活動度A級活断層・・・1,000年あたりの平均的なずれの量が1m以上10m未満のもの
国府津・松田断層、洗沢断層、秦野断層(神奈川)、丹那断層(静岡)など

○活動度B級活断層・・・1,000年あたりの平均的なずれの量が10cm以上1m未満のもの
伊勢原断層、文倉断層(神奈川)、北伊豆断層系(静岡)、立川断層(東京)など

○活動度C級活断層・・・1,000年あたりの平均的なずれの量が1cm以上10cm未満のもの
和留沢断層、生沢断層系、鶴川断層(神奈川)など

日本全体では、活動度A級の活断層が約100、B級の活断層が約750、C級の活断層が約450知られています。(新編日本の活断層・活断層研究会編)

活断層は、地表に残された地震活動の足跡です。現在、いつ頃、どの程度の規模の地震がどのくらいの間隔で発生する可能性があるか確かめるため、さまざまな調査が国内の各地で進められています。

今後、これらの活断層について、さらに解説していく予定です。

温泉地学研究所のホームページ
<http://www.prfi.kanagawa.jp/oshise/05/0325/>

「心豊かに共生する高齢社会」

vol.1

「高齢社会」という言葉を思い浮かべてみてください。どんな想像をしますか？
なんとなく不安を感じる方もいるかもしれません。

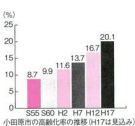
このシリーズでは、高齢社会を安心して心豊かに暮らすために、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきたいと思えます。
第一回目の今回は、「高齢社会」とはどんな社会なのかを知ることから始めましょう。

●高齢介護課 ☎331841

「高齢社会」とは
どんな社会でしょう？

「高齢化」とは、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合である。「高齢化率」が高まっています。小田

原市の高齢化率 (%) 調査の時点で16.7%
は、平成12年の国勢調査の時点で16.7%



率率が7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」と呼んでいます。つまり、小田原市はもうすでに「高齢化社会」に入っているのです。さらに、平成17年度には高齢化率は20%に達する見通しで、市民の方の5人に1人は高齢者となります。

高齢化によって、
社会構造は変化します

高齢化という人口構造の変化に伴って、私たちを取り巻く社会構造も大きく変わっていきます。社会構造の変化には、次のような例が考えられます。

●雇用：若い労働者が不足するため、女性の社会進出が促進されます。
また、経験や技術のある中年、高齢者の雇用ニーズが高まります。

●経済：マーケットの比重が高齢者に移行します。高齢者向けの製品の開発や介護サービスの提供といったビジネスが活発になります。

●財政：介護や医療が必要な高齢者の割合が増え、働きざかりの若い世代の割合が減るため、1人あたりの社会保障負担が増えます。

●都市：安全に配慮した道路や施設整備が必要になります。
●文化：生きがいや社会参加につながる生涯学習の拡充が求められます。



高齢社会を
共に生きるために

今は若くて元気な人も、高齢社会の員として、地域づくりに関わることが期待されています。近年は、元気に仕事や地域で活躍されている高齢者を支える、高齢社会を支える取組組



みをされている若い世代の人々が増えていきます。
これからは、老いても若きも力をあわせ、介護を必要とする高齢者や支援を必要とする人を支える時代です。また、健康で自立した暮らしをするために、介護予防や健康づくりに、ひとりひとりが自覚をもって取り組むことを求められる時代です。
世代を超えて共生することができたら、それは高齢社会を支える大きな力になるに違いありません。

我が家

文 小澤良明

久しぶりに我が家に一家のフルメンバーが集まった。母、妻、長男夫婦、次男とそれに私の総勢六名である。

「久しぶり」というのは、忙しさにまけて夕食という家族の団らんの絶好の機会に滅多に居合わせない私があるのだから、手狭な我が家に二世帯同居は少々無理で長男夫婦は止むなく別居、次男は仕事の関係で勤務先の寮住まいである。しかし、長男夫婦は週に二、三回夕食を共にする為に来るし、次男も大抵日曜には帰っている。それで母と長男がこの時とばかりに非難し反省を求めめるのだが、私はいつもの通り知らんぷりをきめ込む。

私達が育った時代はまだ全てが貧しくどこの家でも親子関係も大家族の伝統も色濃く残っていたし、実際のところ男性上位は当たり前、まして親孝行は世間の常識であった。それが今はどうだろう。濁き切ったような日常が、いつの間

教育、私はこう思う!

静かなる教育論議にぞくぞくご意見。

今求められているのは、世代を超えた交流です。
その輪を広げて、活気ある社会を育てていきましょう。

◎教育総務課 ☎33-1671



教育、私はこう思う!
vol.19

テーマ 「地域と教育Ⅱ」

いろいろな意見を聞いて皆さんが感じたり話したりすることも、教育論議です。

感謝の一言について

仕事柄いろいろな方と接するのですが、「ありがとう」、「またよろしく願っています」など一声かけていただくと、こちらもほんわかした気持ちになり、次回から満面の笑顔でできるだけの事をしてあげたい気持ちでいっぱいになります。感謝の気持ちのひとつで優しくなれるものだと思います。

子どもの登下校について

子どもたちが連なって何か楽しそうに登校していく姿は良いものです。子どもの数が減少している現在、ポツリポツリと一人登校をしている子どもを見ると心配な面

があります。自分の子どもがみんなと仲良く登下校する姿を見て、少なからず安心できたものです。

行動力について

学校・PTA・地域と、一緒に何かをするのは大変ですが、みんなの心の中に「良くしよう」という気持ちを持ち続けて活動していく事が大切だと思います。何事に対しても、まず自分から行動を起こし、そしてたくさんの方に投げかけていくことで、その輪が少しずつ大きくなるのではないのでしょうか。

あいさつについて

農業体験の実習を通して地域の

交流を行っていますが、そのなかであいさつの励行を取り入れました。今まであいさつができなかった子どもたちが、どこで会ってもあいさつをするようになりました。地域の年功者が交流を通じて教えることも必要です。

親の生活について

現代の親には余裕がないようです。私も日中働いていて、下校後子どもたちがどこにいるのか分からず、また近所でも子どもたちの声が聞かれず寂しい限りです。母親たちの井戸端会議もあまり見られません。友だちの親から得る子どもの情報は重要ですよ。

家庭・学校・地域がお互いにつながりスクラムを組んで、小田原の教育に大きなお力を起こしていきましょう。

皆さんもこのコーナーを読んだら、その思いを忘れないように、近くの人に話してみましょ。それが教育論議への第一歩となるのです。

支所・連絡所、小・中学校などに置いてある「意見カード」

でのご意見もお待ちしています。ホームページの「小田原市教育ネットワーク・静かなる教育論議投稿フォーム」でも受け付けています。

投稿フォームアドレス

<http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/silent/>

を覚えた。
二人の夕食は確かに味気ないだろうと内心じくじたるもの

逢えば説教ばかりしてしま
う長男に一本とられて気づいた
ことだが、母と妻だけのたった
二人の夕食は確かに味気ない
だろうと内心じくじたるもの
ない。
逢えば説教ばかりしてしま
う長男に一本とられて気づいた
ことだが、母と妻だけのたった
二人の夕食は確かに味気ない
だろうと内心じくじたるもの

感ずる。
幸いにもというか、まだ我が
家には賑やかにおしやべりし
いながら、親子、家族がお互
いの大切さを確認できる場所
がある。大休、嫁さんをもら
うて別居している間に、「夕食の
時くらい一緒にしろ」と怒られ
るのも幸福と言えるかも知れ
ない。



か家の中にまで忍び入ってき
ている。どこかでも家族が時間
を合わせることもすら難しい。

市民満足度を高めるための行政改革！

～平成14年度の取り組みを報告します～

平成14年度からスタートした行政改革大綱「おだわら改革宣言2002」に基づいた取り組み状況を報告します。

行政経営室 ☎33-1305

新しい行政改革大綱「おだわら改革宣言2002」の重点推進期間である平成14年度～18年度の具体的な施策を示した実施方針では、5つの成果目標をたてました。目標がこの主な取り組み結果は次のとおりです。

①地域の活性化 ・市民活動推進条例の制定

(平成15年7月施行)

市民活動を推進するために、活動団体への情報提供や支援等の市の責務や、市が行っている業務を活動団体に委託する努力をするなどを定めました。

・創業者支援施策の策定

創業者支援策として企業経営者を講師にした起業セミナーを実施し、延べ290人の参加がありました。この中から創業を目

指す5人の方を対象に、3年間のコンサルティングや実務サポートを実施しています。

・フィルムコミッション事業の広域化

テレビや映画のロケを通して、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町のPRと地域経済の活性化を目的として、平成15年2月に「西さがみ連



小田原市内の実績は次のとおりです。

ロケ件数 35件
経済効果 3,219万2千円
エキストラ登録者数 1,200人以上
(ロケ件数・経済効果は平成14年1月～12月の実績です)

②財政運営システムの見直し ・市民満足度重要度調査の実施

18歳以上の市民3,000人を対象に、行政の施策に対する満足度と、今後の取り組みの重要度についてアンケート調査を行いました。調査結果は、予算編成や今後の施策の見直しに利用します。

・梅香園の運営委託

(平成15年4月から委託開始)

利用者の立場にたった多様なサービスの提供と、効率的な施設運営を目指して、今まで市職員で運営していた障害者通園施設梅香園の運営を、専門性の高い社会福祉法人へ委託しました。

・市役所本庁舎の省エネ改修

空調設備や照明器具の省エネ改修を行いました。これにより、15年度以降、年間の電気代が4千万円削減できます。

・補助金の見直し

15年度の交付総額を8,372万9千円削減しました。

・職員数を平成14年度に48人削減

業務の効率化や外部委託により、職員数を削減しました(削減額3億3,536万7千円)。

・公共工事コスト削減

(削減額3億6,881万3千円)

・電子申請などの実証実験における国の制度の活用

中央公民館・国府津公民館・寿町テニスコर्टなどの公共施設の予約をインターネットで行うシステムの開発や、電子申請・届出の実験・調査を総務省の実証実験に参加して行うことで、市の負担が軽減されました(削減額9,050万円)。

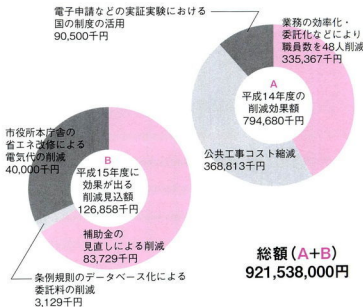


行革大賞を創設!

「職員一人ひとりが行政改革に意欲的に取り組み、市民が納得できる成果を一つでも多く出してほしい」という市長の考えのもと、職員の意識改革の一環として、成果をあげた取り組みに対して、「行革大賞」を創設しました。

市長を審査委員長とした審査会では、職員によるプレゼンテーションにより審査を行い、大賞1件、金賞1件、銀賞・銅賞2件ずつ、努力賞5件、奨励賞4件を選出しました。

主な削減効果額



行革ウォッチャー

おだわら改革宣言2002の策定にあたり提言をしてきた、行政改革市民会議のメンバーから山田昇さんと辻秀志さんに、「行革ウォッチャー」として、行革の取り組みをウォッチしていただきました。

行政改革は、市民に「市役所が変わった」と実感されるものであって初めて成功と言えます。業務改善や成果志向の熱いうねりにまで盛り上げてほしいと思います。市民生活に直結する窓口対応や防災対策は、特に力をいれて取り

組んでほしい分野です。「窓口サービスは満足したが、残る不満」を解消する努力も継続してほしいと思います。職員で窓口のローカウナター化やフロアマネージャーなどを検討しているとのことなの

「窓」

組んでほしい分野です。「窓口サービスは満足したが、残る不満」を解消する努力も継続してほしいと思います。職員で窓口のローカウナター化やフロアマネージャーなどを検討しているとのことなの

防災対策は、市民と行政との協働が

で、是非実施してほしいです。現状に満足せず、行政に携わるプロとして、自信と誇りをもつて実践的な改善に踏み込んでください。

今年度のウォッチャー制度は、市民の皆さんの視察をより反映させるため、公募も含めて拡充します。詳しくは月1日号の広報をご覧ください。

- ③ 職員の意識改革
 - ・目標管理研修を実施
 - ・成果志向の行政経営のために、管理職が目標管理に基づいた部下の指導・人材育成をしていくための研修を行いました。
- ④ 主体的自治の確立
 - ・広域連携と市町村合併の研究
 - ・広域連携による新たなまちづくりの効果や課題について検討しました。また、西さがみ連邦共和国事業として、今年2月に広域連携と市町村合併について語る広域連携フォーラムを開催し、600人の方が参加されました。
- ⑤ 市民満足度の向上
 - ・情報公開条例の制定(平成15年4月施行)
 - ・従来の公文書公開条例を全面改正し、審議会での会議を原則公開とするなど、より情報公開を進めます。
- ・条例・規則のデータベース化
- ・4月から、市の条例や規則をインターネットで検索・閲覧できます。
- ・西さがみ連邦共和国消費生活センターの開設

県消費生活センター開鎖にもない、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町を対象とした「西さがみ連邦共和国消費生活センター」を、市役所内に開設しました。

交通バリアフリー基本構想案の策定

駅とその周辺のバリアフリー化に向けて市民と実際にまちあるき点検を行いながら、重点整備地区の基本構想案を策定しました。今後、交通事業者との協議や国の審査を経た後、整備を開始します。

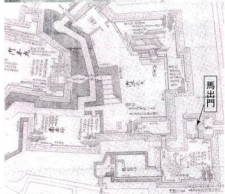
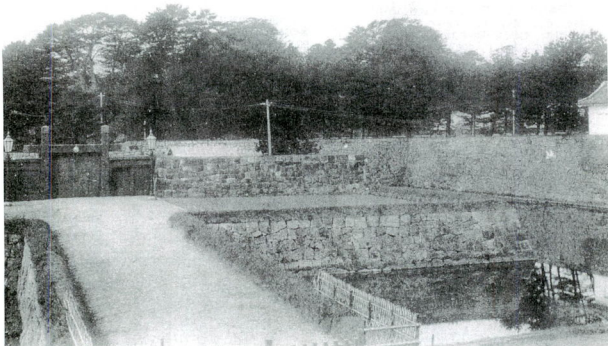
・防災情報システムの導入

大規模災害時に避難者安否情報や被災地情報などがインターネットで確認できるようになりました。

また、姉妹市の栃木県今市市とシステムのパックアップの協定を結び、システムの安定を図りました。



御用邸が建てられていた明治40年頃の馬出門。馬出門土橋(めがね橋)を造ると広場があり、その先に石垣の壁が立ちだかっています。宮内庁書陵部に残されている資料によると、御用邸時代に門の位置をずらしたり石垣をかきあげするなど手を加えていたようです。



江戸時代の馬出門は屋根をもち、石垣の上に土塚が巡らされていました。

史跡小田原城跡整備事業

毎年続けている史跡小田原城跡の整備事業。今年は二の丸馬出門跡の発掘調査を行います。

●文化財保護課 ☎331718

二の丸のもう一つの正門

みなさんは「小田原城の馬出門」と聞いてどこにあるかすぐわかりますか？
馬出門は二の丸の南東部分にある馬屋曲輪の入口に備えられた門で、銅門のようなみことな櫓こそありませんでしたが、二つの門で守りを固め、櫓形と呼ばれる広場を備えており、二の丸に入るための重要な部分に設けられた門でした。

警察署前のめがね橋を渡ったところ、と言えはわかりになることと思います。

馬出門の発掘調査

小田原市教育委員会では、平成12年度か

ら馬屋曲輪の試掘調査を実施し、これまでに馬屋や大腰掛の跡、櫓台石垣などが発見され、江戸時代の馬屋曲輪の様子が次第に明らかになってきています。

平成15年度は、先ほども紹介した馬出門の発掘調査を平成16年度と2年に分けて行い、馬出門の実像に迫ります。

発掘調査は7月から8月にかけて実施する予定です。調査期間中に遺跡見学会も開催する予定です。どうぞお楽しみください。

馬屋曲輪の整備計画を策定

平成15年度は発掘調査に加えて、いよいよ馬屋曲輪の整備計画策定作業に入ります。これまでに行われた発掘調査の成果に加え、石垣の残り具合を調査したり各地の博物館・資料館などに古写真・図面などの資料が残されていないかを調査するなど様々な資料を収集し、馬屋曲輪をどのように整備していくのが良いかを検討していきます。

お願い

史跡の調査や整備に役立てるため、馬屋曲輪など小田原城の古写真を探しています。心当たりがございましたら文化財保護課までご連絡ください。

発掘調査期間中付近の通行が不便になりますのでご協力をお願いします。

出土品が語る

小田原の歴史

市内の遺跡から発掘される数多くの出土品。これらをよく調べると、当時の文化や生活の様子がわかってきます。これら、小田原の歴史を見てきた証人ともいえる出土品の中から特に重要なものをシリーズで紹介いたします。あわせて誌上で紹介した出土品を、その月に郷土文化館で特別に展示します。

文化財保護課 ☎33-1717



泥炭層の遺物出土状況

イノシシ、シカ、カブツ、イルカなどの骨が石器類とともに出土しました。ここで、獲物の解体作業をしていたものと推測されます。

縄目の文様がついた土器にちなんで「縄文土器」とよばれ、この時代を「縄文時代」といいます。紀元前1万1千年ころから弥生時代に入る紀元前300年ころです。

小田原にも多くの遺跡がありますが、多くの木製品を含むバラエティ豊かな文化遺物が出土し、全国的に注目を浴びた「羽根尾貝塚」の出土品をご紹介します。

これらから、縄文時代の小田原人の食生活を垣間見ることができます。いずれも今から約6千年前のものと考えられています。



釣針

シカの角やイノシシの牙で作られていました。2cmから5cmを超えるものもありました。これで、大きな魚を釣り上げていたでしょう。作りかけで捨てられたものも多く含まれており、どのように作ったかを理解するのに役立つ資料も多数あります。



魚骨

カツオの骨です。このほかにマダイやスズキ、体長2mにもなるイシナギ(深海魚)やイルカなど外洋性の多種多様な骨も含まれていました。相模湾を舟で漁をしていたことが想像できますね。

羽根尾貝塚

羽根尾工業団地造成に伴って発掘されました。低湿地帯に形成された縄文時代の貝塚で、動物骨の遺物が良好な状態で保存されていた貴重な遺跡です。ここで紹介した遺物のほかにも装飾品、漆塗り木製品などが出土し、まさに縄文時代のタイムカプセルのようです。昨年は、文化庁主催の速報展「発掘された日本列島展2002」の中心展示品として日本各地で展示されました。今年の秋には市で特別展示を企画しています。

今回の第3室では、
弥生時代・中里遺跡を紹介します。

深鉢形土器
(高さ39.4cm 口径39cm)

この中に取れた食料を入れて料理をしていた今で言う「鍋」。黒く見えるのは煤の跡で、火を使って料理していたことがわかります。



櫂(長さ約1m50cm)

カヌーで使われるパドルと同じような形です。この櫂で舟を沖に漕ぎ出し、漁をしていた光景が想像されます。櫂は全部で18点と、全国的にも多く出土しています。残念ながら丸木舟は出土しませんでした。





新シリーズ

チャレンジ！ 中心市街地

パート1

小田原の中心市街地が持つ限りない魅力を生かして、「活性化元年」が動き出しています。ここでは、さまざまな取り組みやがんばる人々にスポットを当てて、その現状を定期的に紹介していきます。
第1回目の今回は、市が現在取り組みを始めている事業をお知らせします。

産業政策課 ☎ 331519



定期的に「街かどコンサート」を開催します！

今月1月からスタートした「街かどコンサート」は、地下街やアブリ前で開催し、延べ3千人の方々が観覧しました。出演者ももとより観覧者からも「良かった」という声をいただきました。



ただいま出演者と運営スタッフを募集していますので、ぜひご連絡ください。

●出演者と運営スタッフの募集

①出演者
今年度（H15・7～H16・3）に開催する「街かどコンサート」に出演していただける方を募集します。ジャンルは特に設けません。会場などの都合により、パフォーマンス披露ができない場合もあります。

「発表の場」を求めている方、出演をためらっている方もぜひご連絡ください。
また、産業政策課ホームページに出演者募集案内などを掲載しています。

募集期間 随時 ※ただし、土日曜日を除く

HPアドレス

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/sango/index.html>

②運営スタッフ

「街かどコンサート」は、市民の皆様とともに盛り上げていきたいと考えています。

そこで、コンサートの企画・準備・当日の司会・会場整理・進行補助をしていただけるボランティアスタッフを募集します。よろうて応募ください。

募集期間 6月2日(月)～20日(金)

※ただし、土・日曜日を除く

中心市街地活性化のための 事業に支援します！

商業を募集しています。

適当と認められる事業に対しては支援しますので、検討している団体はぜひご相談ください。

募集期間 6月2日(月)～20日(金)

※ただし、土・日曜日を除く

「私もチャレンジ」



山本典子さん(吉布志、店主)

自分で作った小物を知人の店の角に置いてもらったところ意外と好評だったので、「自分でも店を構えてみたい」と思い、2年前に小田原T.M.Oミュージアムショップに出店しました。この4月からは独立して同ビルの中に自分の店を新規開店しています。

元気が毎日仕事ができることが、私にとつての一番「お給料」です。

中心市街地も今がまさに「変わり目」だと思えますので、小田原の持つ伝統と歴史が感じられる活気ある街になると良いですね。

「イベント」Data

【五布楽】

栄町2-9-46 オービックビル1F
☎ 221812
定休 月・火曜日

上級救命講習開催！

警防課 ☎ 494440・4422

市消防本部では、応急手当普及啓発活動の環

として、「上級救命講習」を県西

地区消防本部(小

田原市消防本部、足柄消防組合消

防本部、箱根町消防本部、湯河

原町消防本部)と共同開催します。

普通救命講習の主要内容である「蘇生法」に、「傷病者管理」「副子固定法」「熱傷の手当」「搬送法」を加え、

応急手当の全範囲を習得するのが上級救命講習です。

緊急の事態に遭遇したとき、適切な応急手当を行うには、日頃から

付しておくことが不可欠です。

あなたの行動が、尊い命を救うことにつながります！

日時 6月29日(日)9時～18時

場所 小田原市消防本部2階講堂

募集人数 40人
受講対象者 県西2市8町在住、若しくは在勤の方(中学生以上に限る)を優先します。

募集期間 6月2日(月)～20日(金)まで

※講習に必要なテキストなどを購入していただきます(実費2300円を申し込み時にお支払いいただきます)。





機能訓練会

保健師の お仕事



保健師ってご存知ですか？
「保健婦」から名称が変わった私たち「保健師」は、市民の皆さんの健康づくりのため、色々な活動をしています。

保健師って何？

保健師とは「保健師助産師看護師法」という法律の中で、厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて、「保健指導」に従事することを業とする者を行います。

この場合の「保健」とは、病気を予防し、健康の保持・増進を図り、さらに生活の質を向上させることをいいます。

つまり、健康な方はより健康に、ご病気をされた方は回復できるように、市民の皆さんを対象に健康づくりのお手伝いをする仕事です。

どんな仕事をしているの？

◆乳幼児健康診査

医師の診察が終ったあと、体重や身長がどのくらい増えたかなど健康の結果を説明したり、育児についての相談などを全員にしています。



◆機能訓練会
脳血管疾患の方を対象に、月に3回行う

健康づくり課 ☎470820

ています。作品作りなどの作業をしながら、機能の維持を図ったり、参加者同士の交流を深めています。

保健師は、参加者の血圧測定をするなどして健康状態のチェックをしたり、参加者の障害の程度を見ながら、力を発揮できるように支援しています。

◆家庭訪問

妊婦さんから赤ちゃん、高齢者まで、保健師がお宅にお伺いして健康に生活していたかどうかをどうしたらよいか、一緒に考え、相談や助言などを行っています。

◆地区活動

市内の25連合自治会ごとにそれぞれ受け持ちの保健師がいて、家庭訪問のほか、その地区の育児グループやお年寄りの昼食会などの集まりに参加して、一緒に健康についてのお話をしています。

また、健康おだわら普及員や食生活改善推進員の方々と一緒に地域での健康教室なども行っています。お近くで見かけたら声をかけてください。

ほかに、ママパパ学校、育児相談、予防接種、健康診断、健康教室など、赤ちゃんからお年寄りまで健康づくりに向けたさまざまな仕事をしています。

電話相談も毎日お受けしていますので、健康に関して心配がありましたら、お気軽にお電話ください。

お母さん方は妊娠中や育児中は精神的、肉体的にさまざまな面で不安になりがちですが、さりげなく力になったときはとてもうれしいです。

長山桂子さん



もちろん、DVや虐待などの相談を受けたときなどは、自分がその解決の助けになれるかどうか考えてしまうときもありますが、直接人と触れ合うことによって、相手も安心して悩みなどを話してくれるので、仕事を進めいくうえで大きな喜びになっています。ぜひお気軽に相談してください。

相談に来られる一人一人に合った的確なアドバイスができるように日々勉強中です。

藤村史穂子さん



子育てで、お母さんが一人で悩まれているケースが多いのですが、ご主人やご両親、そして近所の人たちなど、地域社会全体で考えていく、問題だと思います。たとえば各家庭にお配りした「健康カレンダー」をご近所共通の話題にのぼるほど良く見ていただければ、健康に対する意識もどんどん高まっていくのではないかと思います。

心におみやげ、
見つけて小田原。

看護体験

西さがみ連邦共和国連携交流事業



幼い頃に憧れた
看護師の仕事に
ふれてみませんか

市立病院
343175



昨年まで高校生
だけを対象に実施していましたが、今年
は社会人の方も歓迎します。患者さまと
の関わりの中で「何か」を発見できると
思います。
また、この体験をきっかけに本物の看
護師になった方もいます。
皆様の参加をお待ちしています。

日時 8月7日(木)・8日(金)のどちらか1日
場所 市立病院

対象 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河
原町在住・在学・在勤の看護に関心のある
15歳以上の方70人・先着順
内容 病院見学・看護体験実習・進路相
談・意見交換など

申込方法 必ず往復はがきでお願いしま
す。体験希望日・郵便番号・住所氏名ふ
りがな・電話・性別・年齢(学生は学校名・
学年・社会人の方は職業)・白衣のサイ
ズ(S・M・L・LL・XL、男性はウエ
ストサイズ)、看護体験を希望する動機
や期待することを記入してください。
返信面にはあて先を忘れずに。
申込 7月14日(月)必着

〒250-8558

小田原市立病院看護部「看護一日体験係」
※決定者には7月22日までに連絡します。

私も体験しました！

ちょうど進路を決める時期だった
中学3年生のときに、1歳年上の姉
と一緒に申し込みました。配属され
たのは脳外科病棟で食事や歩行の介
助を経験しました。

今こうして市立病院の看護師にな
れたのも、そのときの経験が人生を
決めるほどのインパクトのあるも
のだったからだと思います。

毎日が勉強で大変な仕事ですが、
患者さまに声をかけて笑っていたた
けたときや、自分がお世話した患者
さまが退院してからも顔を出してく
ださったりすると「この仕事に就い
て良かった」と感じます。

「ちょっとだけなら」と思っている
人ももちろん、「看護体験って何？」
あるいは「自分は何がしたいのだろ
う」と迷っている人も、とにかく1
回体験してみてください。
患者さまと関わるということを経
験してみれば、きっとそこに何か感
じるものがあるはずです。



池田夏美さん